

おだやかで華やかな成人式

富士中学校 1月9日(日)

平成22年度の南越谷地区成人式が好天に恵まれ、多くの保護者・来賓の方々が列席のもと午前11時より肅々と開催されました。

南越谷地区の新成人対象者は284名で、そのうち184名が出席しました。(出席率64.8%) 新成人は、平成22年4月2日から平成23年4月1日 生まれです。

新成人が実行委員として式典運営にあたりました。飯島孝子実行委員長、高橋努市長、市議会議長代理の櫻村紀元市議会議員より式辞とお祝いの言葉があり、これを受けて新成人を代表して矢須元規さんが、「誓いの言葉」を述べました。

式典終了後、地区内小中学校の恩師や友だちを囲み、和やかに茶話会が行われました。皆様の今後のご活躍を祈念致します。 S.H



さいたま郷土かるた大会

南越谷小学校 平成22年12月19日(日)

恒例の南越谷地区子ども会育成連絡協議会主催かるた大会が行われました。団体31チーム、個人36名の参加がありました。

子どもたちは読み手の声に耳を澄ませ、絵札を見つけると「はい！」という元気な声とともに、素早く手を伸ばして取り合っていました。結果は表の通り。 S.H

学年	団体	個人
低学年	優勝	赤山3A
	2位	赤山3C
	3位	杉の子A
	優勝	関口 友紀
	2位	石橋 駿太郎
	3位	豊田 祥之 森本 皓心
高学年	優勝	杉の子A
	2位	赤山3B
	3位	茜町A
	優勝	高橋 明愛
	2位	山田 勇那
	3位	森下 裕咲子 石橋 由菜



災害の教訓

今、私たちにできること

このたびの東北地方太平洋沖地震におきまして、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、また甚大な被害に遭われました皆さま方には心よりお見舞いを申し上げます。

この状況の中、地区総合防災訓練を3月13日(日)に予定していましたが中止となりました。越谷市の被害状況は、詳しくは市のホームページに記載されていますが、人的被害は避難時の事故で重軽傷8名、物損被害では、火災、ブロック崩壊、瓦落下、電柱・街灯傾く、漏水、門倒壊、エレベーター閉じ込めなど、合計で123件が記載されています。(3月23日現在)

当日(11日)市内30個所に開設された避難所には、帰宅できない1000名を超える方が利用されました。比較的被災軽微な私たちに、今できることを3項目あげてみました。



- ① 節電を心がける
- ② 買いだめをしない
- ③ デマを広げない

これらのことを多くの人たちが、家庭や職場でそれぞれに対応されたことと思います。南越谷地区としても、この教訓を生かし、普段から防災意識の高揚を図り、住民間の連携による「災害に強いまちづくり」の必要性を痛感しました。

ユニカール講習会

南越谷小学校 1月23日(日)

「ユニバーサル・カーリング」(みんなのカーリング)を略してユニカールと名付けられている。ルールは、1チーム3人、ストーンを滑らせ、終了時センターサークル付近に多くのストーンのあるチームが勝ちとなる。

この講習会は今までに数回この時期に行われ、今回大人10チーム、子ども6チームが参加。指導者2人が競技の説明をしながら、トーナメント形式で競った。子どもたちは重いストーンを初めは思うように滑らせられなかったが、数回でなれた様子。3人で相談しながらプレーを楽しんでいた。 S.H



第1回自治会シンポジウム開催

共催／越谷市自治会連合会・越谷市 越谷中央市民会館 2月19日(土)

自治会相互の情報交換や交流を図り、自治会活動の活性化と持続可能な運営の一助となることを目的として、先駆的または特色ある活動を行っている自治会の活動成果の発表がありました。

越谷市13地区自治会の方が出席し、高橋努市長の挨拶後、NP

〇法人からまつ(八王子唐松町会)、七左町七丁目第一自治会、蒲生西町二丁目自治会の三自治会が、昨今の自治会を取巻く「高齢化社会」、「自治会加入者の減少」、「地域活動の困難さ」の中で、「ゴミ収集や会員開拓など特色ある内容を発表されました。会費を納めるだけでなく、すべての世代が活動に参加されるよう「自治会の魅力・誇り」を前面に出した運営を強調していました。 T.N



ボトルキャップ回収報告
 期間：H19.12.1～23.1.26
 累計で **2,880,120個**
 ポリオワクチン／3,600人分、CO2発生削減／22,681Kg でした。
 今後ともよろしくお願ひします!

編集後記
 このたびの大震災でご家族やご親戚、ご友人の中に被災された方もおられることでしょう。私たちにできることを実行しながら、これからの復興を願っています。 T.O

お正月家内飾り講習会
 平成22年12月26日(日)
 参加者30名
 大王松の雄姿

第11回まちづくりリシンポジウム事例発表

南越谷地区の世代間交流

共催 越谷市コミュニティ推進協議会・越谷市
越谷市中央市民会館 2月19日土

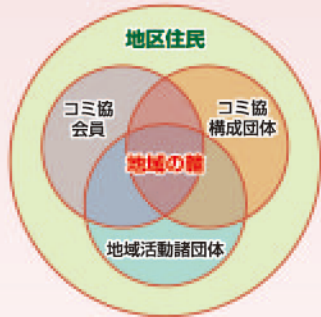
越谷13地区「ミ協のうち、大相模・川柳・増林・桜井・大袋・荻島・南越谷の7地区の事例発表があり、南越谷地区からは27名が参加しました。

今年のテーマは「子育て・世代間交流」で、他地区ではゴーヤを利用したグリーンカーテン作り、幼児を持つ母親同士の交流事業、自治会役員と子どもたちだけで行う宿泊体験、地域と学校が連携して行う昔遊び、若手芸人や消防車・パトカーを呼んで行われた地区フェスティバルなど、それぞれ工夫を凝らした事業発表がありました。

南越谷地区の発表では、平成6年「地区文化祭」として現在の南越谷交流館でスタートし、平成11年から場所を南越谷小学校とパレットに移し、名称を改めた「南越谷地区フェスティバル」を紹介しました。その事業の中で、地域全体が参加できるように、世代間交流を深めていった内容について説明しました。

高齢化が進む中、世代間交流の目的を地域の皆さんに理解してもらい、南越谷地区にふさわしい、ふれあい活動を検討していきたいと考えています。

T・O



年間事業	取組部会
※ 地区フェスティバル	全部会
地区総合防災訓練	全部会
先進地訪問研修会	全部会
普通救命講習会	防 災
※ 防災ウォークラリー	防 災
地区自治会一斉清掃	環境・衛生
花いっぱい運動	環境・衛生
※ 世代間交流事業	福 祉
高齢者の社会科見学	福 祉
お正月の室内飾り講習会	福 祉
広報誌編集配布	広報・文化
パレットステージ(H23より)	広報・文化
地区コミ協ホームページ	広報・文化
一声運動キャンペーン・交通安全	防 犯
ボトルキャップ回収事業	総 務

※: 主な世代間交流事業

地区自治会一斉清掃

人々の輪で街が綺麗に

環境・衛生部会担当 3月6日(日)

今年度2回目の地区自治会一斉清掃が9時から実施されました。晴れて寒い朝、8時前から清掃を始めている自治会もありました。

道路沿いでは、たくさんの方たちが丁寧に落ち葉などを集めたり、「ゴミ拾い」をしていました。中には、小さな子どもなど家族みんなで来ているところもありました。ゴミ収集場所には、一輪車にたくさんゴミ袋を積んで、何度も往復して運んでこられる方もいました。10時過ぎには、可燃ゴミと燃えないゴミの袋が集まりました。

南越谷第一公園は、普段でも週に何回か清掃している方がいるそうです。広報誌が届く頃は、桜の時期となり、綺麗な公園でお花見ができることでしょうか。朝早くから参加された皆様、お疲れ様でした。



N・A

安全・安心 防犯パトロール

安全で安心なまちづくりの実現のため、南越谷地区では自治会連合会や青少年指導員協議会などの主催で毎月防犯パトロールを行っています。

南越谷地区を数班に分け、防犯パトロールベストを着用し、常夜灯を持ち、佐藤利昭警察官同行で徒歩または自転車で巡回しています。街の人達に防犯啓発をすると同時に、自転車の無灯火に注意し、老人の一人歩きに声掛け等をしながら寒さの中廻っています。

昨年暮には、地域の防犯防止街頭キャンペーンに高橋努市長と警察署長も参加され、この活動を激励されました。また各自治会で行われている防犯パトロールと連動し、大きな防犯活動の発展につながれば、より安全で安心なまちになるでしょう。

R・N



子ども主催事業発表会

南越谷公民館主催
南越谷地区センター 3月6日(日)

年に1度の発表会が行われました。

パレット子育て広場では、子どもと母親が一緒になって踊りを交えた楽器演奏、おはなしタイム(わくわくお話広場)では、大きな絵本を広げながらのお話、子ども太鼓「どんどん」は、低学年・高学年に分かれて勇壮なばさばさ、チアリーディングは華やかなパフォーマンスをそれぞれ繰り広げてくれました。大勢の家族や観客の前での発表でした。

S・H



子ども太鼓



チアリーディング



パレット子育て広場



おはなしタイム

雑紙として分別すれば資源として蘇る

越谷市環境資源課主催
南越谷地区センター 2月7日(月)

越谷市環境資源課より平成22年度「ごみ分別収集」について報告がありました。南越谷各自治会廃棄物減量等推進員が出席、分別収集状況報告を受けました。

ごみ排出量は平成18年度より15分別を実施してから確実に減っています。今後、新たに目標値を設定すること。一方、燃える「ゴミ」においては「雑紙」の混入と危険物の分別状況が悪く、昨年来の課題となっています。ごみ収集力レンドーの変更やチラシの配布などで多少は減少したが、大きな効果は現れていない。

ごみ収集場所は皆さんからの苦情・報告をまとめると、「とても汚い」の評価が年々少なくなっているが、一部の集合住宅では守られていないところがある。意見交換では、各自治会とも、「ゴミ収集場所をきれいにする」、「分別を徹底する」などの議論が出ていました。この報告会は、市役所と自治会が一体となって苦情・意見を共有し、現状以上に分別を定着させ、排出量の削減を図るために設けたことでした。



T・N

